

環境と調和した

# コウエイレベラー 天端用

## 良質なセルフレベリング性

平滑で精度の高い仕上り面が得られます。

## 良好な物性

主成分がセメントなので、耐久性（耐水、強度）が良好です。  
ひび割れ抑制効果を高めるため、繊維を混入しております。

## 施工の簡素化

コテ仕上げは不要です。



株式会社 紘永CMC



# 施工上の注意

## 1. 施工前の注意点

- ①生コン打設後、天端を平にします。  
(注) コウエイレベラーの仕上げ厚が、5mm以下の施工は避けて下さい。
- ②コンクリート表面のレイトンス、ゴミ等がある場合は剥離防止のため除去して下さい。
- ③コウエイレベラーは僅かな隙間からでも流出しますので、施工前にレベラーをパテ状に硬練りして充填します。

## 2. 調合・混練



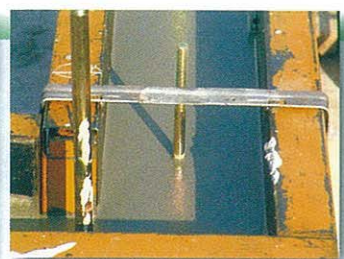
調合

コウエイレベラー	標準水量
25Kg/袋	7.0~7.5L/袋

- ①混練用容器に所定量の水を入れハンドミキサで攪拌しながらコウエイレベラーを投入します。
- ②まま粉ができないように十分に攪拌します。(標準時間:3分)
- ③コウエイレベラー1袋で基礎巾12cm・厚さ10mmの布基礎約12mの施工が出来ます。

## 3. 施工時の注意点

- ①当日の流し込みは、コンクリートのブリージング水が引いた時に実施します。
- ②翌日以後、コウエイレベラーを施工する場合は、ワイヤブラシでコンクリート表面のレイトンス除去・目荒らし、およびプライマー処理を行ってください。



## 4. 施工後の注意点

- ①施工後はシート等で養生してください。
- ②気温が5℃以下となる場合には保温等の処理を講じてください。また、低温時には硬化が遅くなります。

## 保管上の注意点

セメントと同様に、湿気をさけ乾燥状態で保管してください。

## 取り扱い上の注意点

- ①取り扱いの際は防塵用メガネ・マスク及びゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- ②皮膚に付着した場合、直ちによく洗い落として下さい。また、目に入った場合は、清水で十分に洗浄し、必要に応じて専門医の診察を受けて下さい。

## 使用器具

- 電動式ミキサ …………… 1個
- 混練用容器 (20~50L) …………… 1~2個
- 水計量用容器 (10L) …………… 1個
- 流し込み用容器 (2L~5L) …………… 2~3個

## 物性

項目	試験値	
水・レベリング材比 (%)	28.0	
フロー値 (mm)	225	
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	7日	18.1
	28日	27.5
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	7日	4.3
	28日	5.9

## 荷姿

25Kg 袋



日本工業規格認証番号 GB 0307190  
**紘永CMC株式会社**

本社：工場／埼玉県熊谷市三ヶ尻3047番地 〒360-0843  
TEL (048) 532-3969 (代表) FAX (048) 532-1461  
東京営業所／東京都板橋区志村1丁目30-11 1F 〒174-0056  
TEL (03) 5915-0025 FAX (03) 5915-0026  
URL <http://www.koei-con.jp>  
E\_mail:hyotan@koei-con.jp

販売店